

下期の活動内容について

本年度の下期は、光市との協働による継続事業「市域全体での省エネルギー運動」、
 「再生可能エネルギーセミナー」等、活発に取り組みを進めました。
 これまでの取組みを下記のとおりご報告します。引き続きご協力をお願いします。

1 再生可能エネルギーセミナー

太陽光をはじめ風力、水力等の再生可能エネルギーを活用したまちづくりについて考えるセミナーの第2弾として、先進地視察を実施し、多くの会員ならびに市民の方にご参加いただきました。

視察先は、環境モデル都市北九州市にある北九州エコタウンとし、北九州市の取組みや、市民発電所、大規模風力発電施設等を視察しました。高さ65mに及ぶ風力発電機が10基立ち並ぶ姿は壮観で、参加者された方から、「普段、間近に見ることのない風力発電について、その迫力を肌で感じ取れた」との声が寄せられました。

その他、太陽光発電、風力発電といった大型設備のみならず、集光追尾型太陽光発電の模型や、スマート水素ステーション等の珍しい装置の見学も行い、楽しみながら多様な再生可能エネルギーを学ぶことができました。

風力発電



スマート水素ステーション



集光追尾型太陽光発電



2 ノーマイカー運動

下期は2回にわたり、会員一斉ノーマイカー運動を実施しました。
 参加者及び効果は次のとおりです。

	事業所	団体	個人	削減距離	削減効果
10/16	6社	1団体	4名	5,357km	1,243kg-ton
12/18	6社	1団体	2名	5,777km	1,340kg-ton

3 市域全体での省エネルギー運動

市域全体でCO₂などの温室効果ガスの削減や環境問題に対する意識の醸成などのエコライフを促進するため、地球温暖化防止月間である12月に「市域全体での省エネルギー運動」の実践を促すとともに、12月第3日曜日を市内一斉に省エネルギーに取り組む日「エコマルチャレンジデー」とし、市と協働で重点的な省エネルギー行動を呼びかけました。

この運動を広げるために、12月16日(水)から20日(日)の5日間、市営バスの運賃を無料にするとともに、市営バスを利用して里の厨に行かれた方を対象に「商品券(2000円分)」をプレゼントしたりする等のノーマイカー促進に取り組みました。

また、1月分の電気使用量の削減率を競うキャンペーンを実施し、より実践的な省エネルギー運動を展開し、53世帯が参加しました。その結果、34世帯が前年に比べて削減に成功しました。

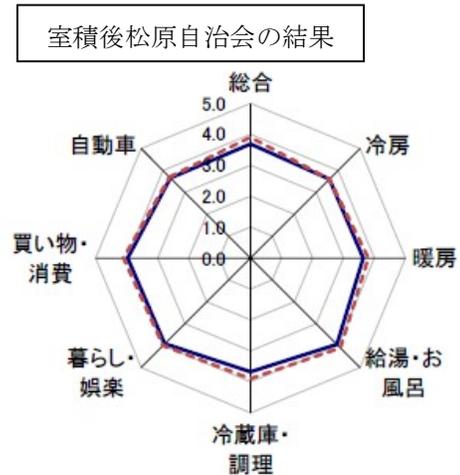
今後も引き続き、省エネ運動の取組みを進めていきます。

4 家庭における温暖化診断

協議会では、市内の自治会を対象に、各ご家庭における温暖化診断を実施しています。本年度は、室積後松原自治会を対象に活動を実施しました。

【参考】これまでの取組み

年度	自治会名	実施世帯数
18	虹ヶ丘6区自治会	126
19	虹ヶ丘4区自治会	95
20	虹ヶ丘1区自治会	125
21	中村町自治会	148
22	緑町自治会	104
23	木園自治会	110
24	千坊台1丁目自治会	100
25	原下自治会	101
26	共和自治会	88
27	室積後松原	56



それぞれの取組みは協議会 HP でも紹介しています。ご関心のある方はアクセスしてみてください。

<http://www.city.hikari.lg.jp/seisaku/kyougikai.html>